

男女共同参画に関する

意識・実態調査の結果を公表します

市では、男女の人権が尊重され、個性と能力が十分に発揮できる男女共同参画社会の実現にむけて、平成19年に第三次北本市男女行動計画を策定し、総合的・計画的に取り組みを進めています。この計画が、平成24年度で終了することから、現在、第四次計画の策定を進めています。

今回、市民の皆さんの男女共同参画に関する意識や実態を把握し、今後の計画や施策に反映させることを目的として、意識調査を実施しましたので、調査結果の一部を公表します。調査にご協力をいただいた皆さん、ありがとうございました。

◆問合せ 協働推進課人権推進・男女共同参画担当(直通594-5507)

調査の概要

調査対象 住民基本台帳から18歳以上の
人を無作為抽出
対象者 2,000人
調査期間 平成23年10月3日～28日
調査方法 郵送による配布・回収
有効回収数 935人(回収率46.8%)

報告書が閲覧できます

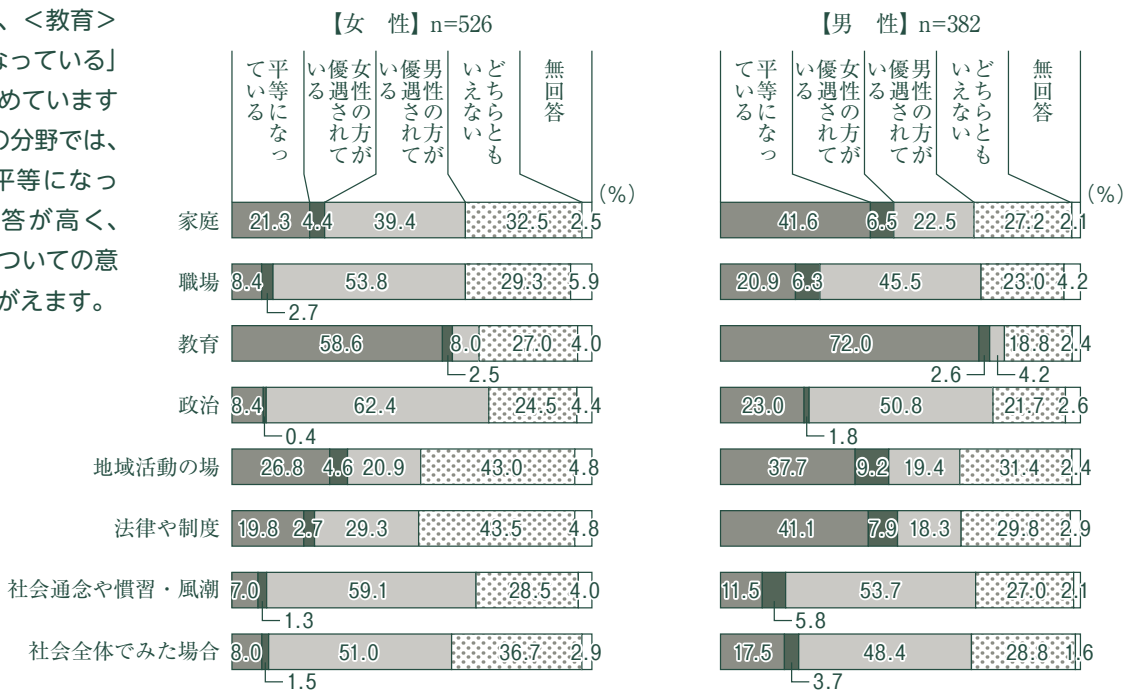
北本市男女共同参画に関する意識・実態調査の結果は、市ホームページ、市役所、中央図書館、各地域学習センターで閲覧できます。



問

男女は平等になっていると思いますか？

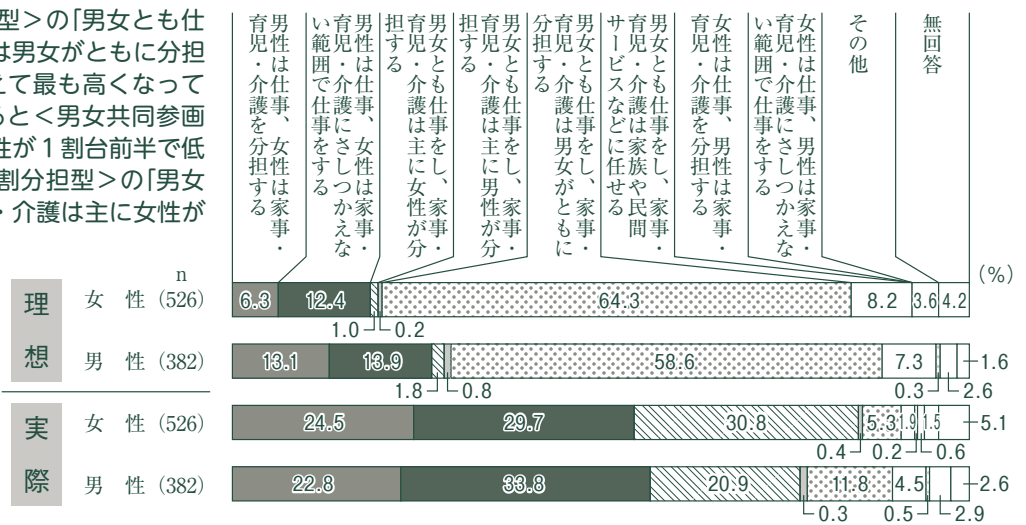
男女ともに、〈教育〉では「平等になっている」が過半数を占めていますが、それ以外の分野では、男性の方が「平等になっている」の回答が高く、男女の平等についての意識の差がうかがえます。



問

家庭における男女の役割分担の理想は、どうあるべきだと思いますか？また、実際にはどうですか？

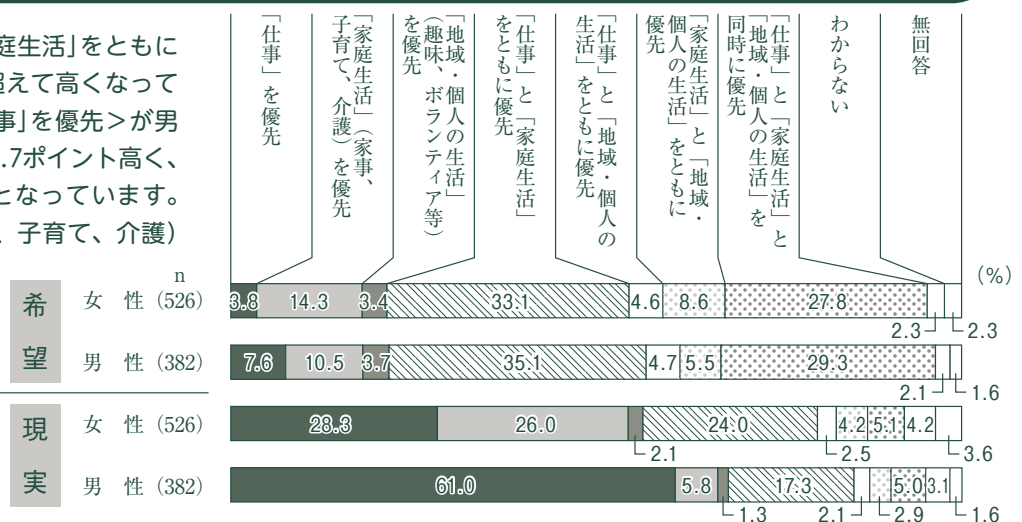
【理想】は＜男女共同参画型＞の「男女とも仕事をし、家事・育児・介護は男女がともに分担する」が男女とも半数を超えて最も高くなっています。一方、【実際】でみると＜男女共同参画型＞は女性が1割未満、男性が1割台前半で低くなっています。＜性別役割分担型＞の「男女とも仕事をし、家事・育児・介護は主に女性が分担する」が女性で約3割、男性で約2割となっています。仕事をしながらも、家庭での家事・育児・介護の多くを女性が担っており、女性には、仕事と家庭の両方の負担がかかっていることが伺えます。



問

仕事、家庭生活、地域・個人の生活の優先度について伺います。希望は何を優先したいですか？また、現実は何を優先していますか？

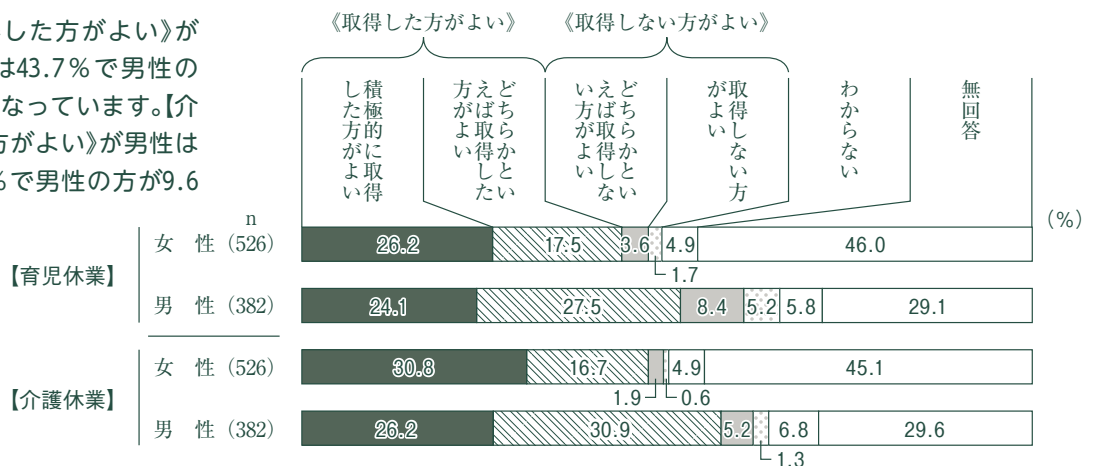
【希望】は＜「仕事」と「家庭生活」をともに優先＞が男女とも3割を超えて高くなっていますが、【現実】は＜「仕事」を優先＞が男性は61.0%で、女性より32.7ポイント高く、仕事を優先している結果となっています。一方、＜「家庭生活」(家事、子育て、介護)を優先＞は女性が26.0%で男性より20.2ポイント高く、男性に比べて女性は家庭生活を優先していることがわかります。



問

男性が育児休業や介護休業を取得することについて、どう思いますか？

【育児休業】は《取得した方がよい》が男性は51.6%、女性は43.7%で男性の方が7.9ポイント高くなっています。【介護休業】は《取得した方がよい》が男性は57.1%、女性は47.5%で男性の方が9.6ポイント高くなっています。【育児休業】、【介護休業】ともに男性は《取得した方がよい》が過半数となっています。



※ nは設問に対する回答者数です。

